
2021 年度 奨学金予約説明

- 奨学金の概要（給付・貸与）
- 申込手続きの方法
- 書類作成時に注意すること
- 今後のスケジュール

奨学金の概要

- 経済的理由により就学に困難がある、
優れた学生等に対し学資として貸与、または給付されるお金です。
- 借りた本人が返さなければならない借金
- 借りる場合には返す覚悟を持ち、勉学に励みましょう。
- 進学後に確実に就職し、**奨学金を返していける自分作り**をしましょう。

奨学金の概要

奨学金の種類

第一種奨学金（無利息）

第二種奨学金（利息付）

奨学生本人名義の口座に毎月振込み、貸与終了（卒業）後に返還。
初回振込時の一時金（入学時特別増額貸与奨学金）の付加が可能。

給付奨学金

奨学生本人名義の口座に毎月振込み、原則返還不要。

採用種別

予約採用

大学等に進学する前年度に申し込む。

在学採用

大学等に進学後に申し込む。

給付奨学金について

2020年4月から 新しい給付奨学金・授業料等減免制度が スタート!

低所得世帯の方であっても、社会で自立し、活躍することができる人材を育成する
大学等に進学できるよう給付奨学金制度の拡充などが行われます。

経済的に
難しいから
無理かな



進学を
諦めるなんて
もったいない!

対象となる学校は?

大学・短期大学・高等専門学校(4～5年生)・専修学校(専門課程)

※対象となる学校には一定の要件があります。

対象校は文部科学省ホームページで確認できます。

URL: https://www.mext.go.jp/kyufu/support_tg.htm



対象となる生徒は?

学力基準	家計基準
①申し込み時までの高等学校等での成績が 評定平均値(5段階評価)で平均3.5以上 ②①に該当しない場合は、レポートまたは 面接により学修意欲や進学目的等が 認められること	住民税非課税世帯 及び それに準ずる世帯

成績だけじゃない!

支給される金額は?

給付奨学金の上限額(月額)

(住民税非課税世帯<第1区分>の場合)

大学、短大、専修学校(専門課程)			
国公立		私立	
自宅	29,200円 (33,300円)	自宅外	66,700円
自宅	38,300円 (42,500円)	自宅外	75,800円

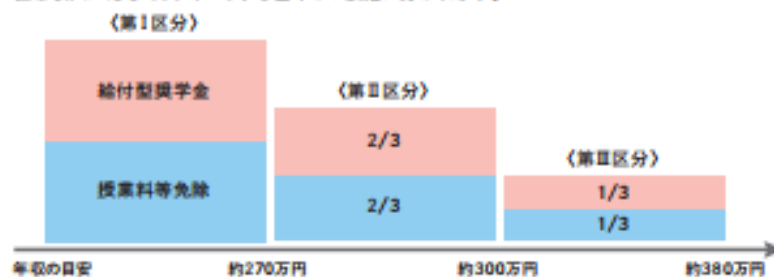
※生活保護世帯で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人は、カッコ内の金額となります。

※第2区分、第3区分及び高等専門学校、通信教育課程の支給額はJASSOのホームページを確認してください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/kingaku/index.html>

世帯収入に応じて段階的に支援します

世帯収入に応じて、サポートする基準が3段階に分かれます。



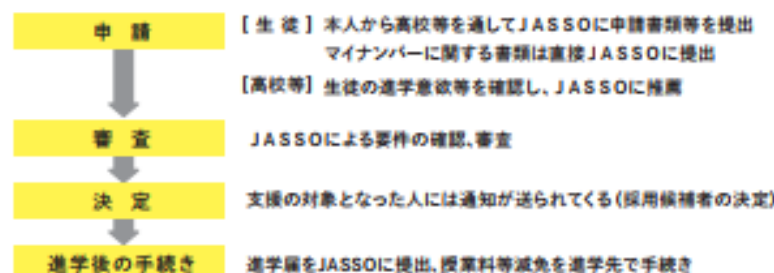
上記の年収目安は、両親・本人・中学生の4人世帯を想定した「例」です。

実際には多様な家族構成があり、基準を満たす世帯年収はそれにより異なります。

支援の対象となるかどうか、進学資金シミュレーター(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>)で調べてみましょう。



手続きの流れは?



授業料や入学金の減免制度

新しい給付奨学金の対象者は、進学した大学等で申請することにより、授業料、入学金の減免を受けることができます。新しい給付奨学金の給付額と同じ基準で、世帯年収に応じて、3段階に分かれます。

授業料・入学金の減免上限額(年額)

(住民税非課税世帯<第1区分>の場合)

	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円
短期大学	約17万円	約39万円	約25万円	約62万円
高等専門学校	約8万円	約23万円	約13万円	約70万円
専修学校(専門課程)	約7万円	約17万円	約16万円	約59万円

給付奨学金について

■進学資金シミュレーター

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>

「進学資金シミュレーター」の「給付奨学金シミュレーション」では、国の新しい給付奨学金制度の対象になるかどうかを調べることができます。

◆給付奨学金シミュレーション（生徒・学生向け）

いくつかの質問に答えることで、給付奨学金を受けることができる年収の目安を簡単に知ることができます。

◆給付奨学金シミュレーション（保護者の方向け）

世帯の年収等を答えることで、給付奨学金を受けることができるかを詳細に知ることができます。

ご利用にあたって不明な点や詳しい利用方法については、機構のホームページ掲載「給付奨学金シミュレーションかんたんガイド（生徒・学生向け）」「給付奨学金シミュレーションご利用の手引き」をご覧ください。

※貸与奨学金のシミュレーションも行うことができます。



貸与奨学金（第一種・無利息）について

対象となる学校は？

大学院・大学(学部)・短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程)

基準

進学前に第一種奨学金を申し込む場合の基準は、次のとおりです。

学力基準	家計基準(4人世帯の場合)
申し込み時までの高等学校等での成績が 評定平均値(5段階評価)で平均3.5以上	申し込み時の家計(年収の目安)が ・給与所得世帯 747万円以下 ・給与所得以外の世帯 349万円以下(所得)
3.5未満でも以下の人は奨学金意欲があれば申し込み可。	この家計基準に満たなくても以下の人は申し込み可。
住民税(市区町村民税)非課税世帯・生活保護受給世帯の生徒 または社会的要援を必要とする人(児童養護施設の入所者等)	

※大学、短期大学、専修学校(専門課程)に進学する場合の基準です。

毎月いくら借りられるの？

学校の種類や通学形態、入学年度によって金額は異なります。

月額の 種類	大 学				短期大学・専修学校(専門課程)			
	国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円
その他		40,000円	40,000円	50,000円		40,000円	40,000円	50,000円
	30,000円	30,000円	30,000円	40,000円	30,000円	40,000円	30,000円	40,000円
	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円

※大学院、高等専門学校の場合、異なる貸与月額があります。

月額選択の際の注意点



上限の最高月額を借りられない人もいます

家計収入(年収)が一定額以上の場合は、各区分のその他の月額から選択いただきます。第一種奨学金は、国民の皆さまからの税金などの公的資金と奨学金からの返済金が財源となっています。借りた財源の中でより多くの方に利用いたただけよう、このような制限が設けられています。

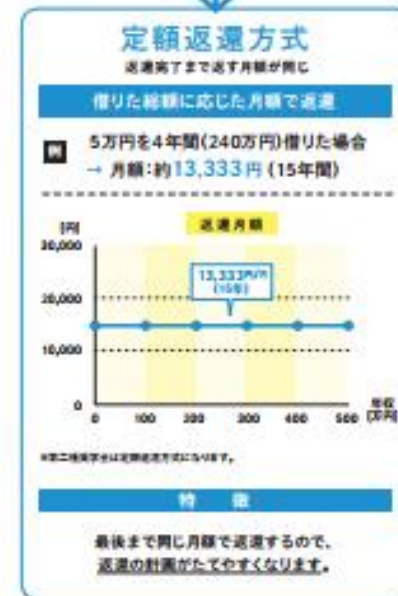
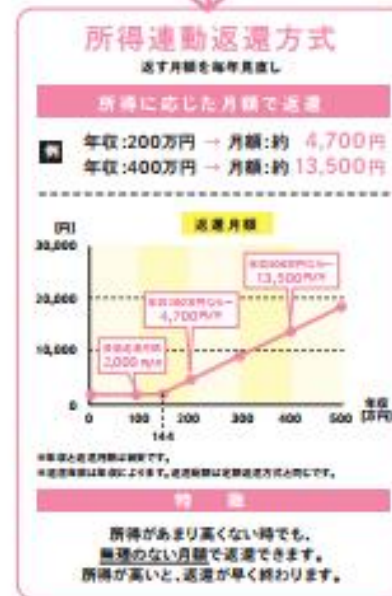
月額が制限される人もいます

新しい給付奨学金制度の対象者について、第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の月額が制限されます(所定する月額が貸与されない場合があります)。

奨学金を返す方法は2つから選択

例:私立大学(自宅外)、貸与月額50,000円、貸与月数48ヵ月

選べます!



定額返済方式の返還の月額と期間は、 借りた金額で決まります

例:令和2年度大学(学部)入学者、貸与月数48ヵ月



貸与奨学金（第二種・利息付）について

対象となる学校と借りられる金額

対象校：大学院、大学(学部)、短期大学、高等専門学校の4,5年生、専修学校(専門課程)
貸与月額：2万円から12万円まで、1万円単位で貸与月額を選ぶことができます。
(大学院の場合、選べる貸与月額が異なります)

以下の場合は、増額することも可能です。

- ・私立大学の医・歯学の課程→12万円に4万円を増額
- ・私立大学の薬・獣医学の課程→12万円に2万円を増額

自分で
決められます

基準

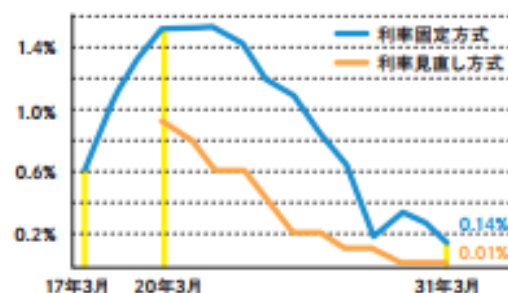
進学前に第二種貸学金を申し込む場合の基準は、次のとおりです。

学力基準	家計基準(4人世帯の場合)
以下のいずれかに該当 ・高等学校等での申し込み時までの成績が学校の平均水準以上 ・特定分野で特に優れた資質能力がある ・大学などで学修意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがある	申し込み時の家計(年額) ・給与所得世帯 1,100万円以下(収入) ・給与所得以外の世帯 692万円以下(所得)

※大学、短期大学、専修学校(専門課程)に進学する場合の基準です。

利率はどれくらいなの？

極めて低く設定されています。平成31年3月は、0.14%(利率固定方式)、0.01%(利率見直し方式)でした。

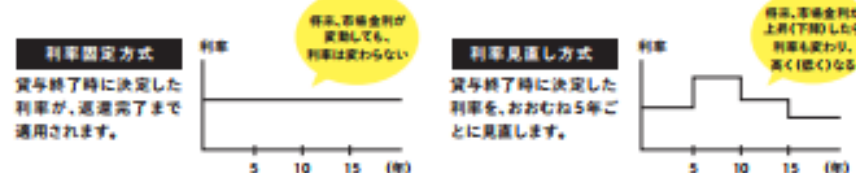


※ 利率見直し方式は平成19年度に導入しました。

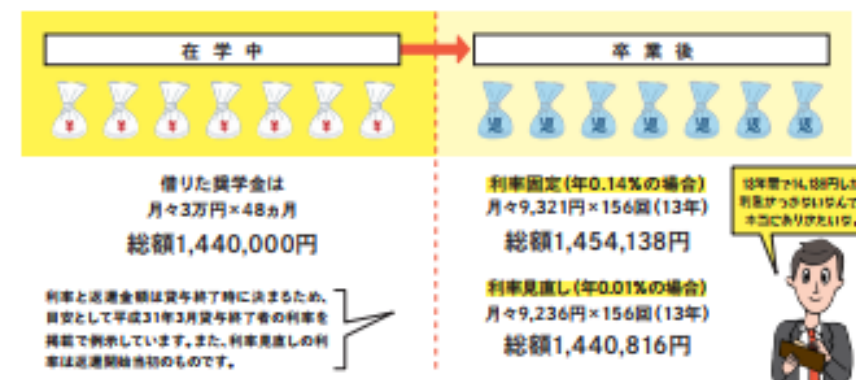
どちらの利率の算定方式を選んでも、利率の上限は年3%と法令で決まっていますので、安心してください。

利率の算定方法は2つ。利率固定方式と利率見直し方式

奨学金を申し込む時に、以下のどちらかを選択しますので、それにより、利率は異なります。利率が決まるのは、貸与が終了するときです。その前に、変更することも可能です。



返還の月額と期間は、借りた金額と利率で決まります



いくら借りたら、いくら返すの？シミュレーションができます

奨学金の貸与額と返還額を試算することができるwebサイトがあります。

返還シミュレーション 検索



入学時特別増額貸与奨学金について

受験から入学前までに100万～200万円という
まとまったお金が必要です。

	自 宅		下 宿	
	私 立	国 立	私 立	国 立
出願、受験 学校への納付金				
教材購入				
住まい探し、 生活用品購入など				
出願をするためにかった費用	183,400円	137,000円	156,700円	123,000円
受験のための費用	17,000円	18,600円	74,400円	84,200円
入学した大学への学校納付金	896,200円	631,600円	924,100円	639,900円
入学しなかった大学への学校納付金	314,100円	301,300円	304,600円	304,100円
合格発表や入学手続きのための費用	3,900円	4,300円	37,200円	37,800円
入学式出席のための費用	4,400円	4,900円	42,100円	42,300円
教科書・教材購入費用	149,900円	199,100円	185,700円	226,500円
住まい探しの費用	一 円	一 円	221,800円	183,600円
生活用品購入費用	81,400円	89,500円	298,900円	307,000円
その他の費用	83,500円	103,500円	248,800円	289,900円
合計	1,508,200円	1,282,400円	2,221,800円	1,996,300円

※なお、上記の各費目の平均額を合計したものと、合計の平均額は一致しない。出典：全国大学入学者選考協会「2019年度保護者向け入学準備調査」

国立か私立かで、学校納付金に大きな違いがあります。
自宅から通えない場合は、住まい探しの費用などがかかります。

受験後のタイミングで申請を

合格発表の前から、教育ローンなどの申請手続きを進めておくことが安心です。
入学直前になってから、不足していることに気づいて、あわてて申請しても、
審査に時間がかかり、間に合わないことがあります。

入学金などをサポートするしくみがあります。

ひとり親世帯や低所得世帯、「貯蓄だけでは足りない」世帯をサポートします。
奨学金の振込みが始まるのは入学後ですが、入学時に利用できるサポートには以下の方法があります。

① 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

金額	350万円まで（学生一人あたり）
時期	入学前から利用可能、申込みから20日程度で入金
対象	世帯年収の制限あり（子どもの人数に応じて幅広く対応）
利息	年1.66%（固定金利）（令和元年11月現在）
留意点	・国の奨学金（入学後に支給スタート）と併用可 ・受験前から申込み可

「① 国の教育ローン」を
申し込んだけれど、
借りられなかった人が
「② 入学時特別増額貸与奨学金」
の対象になります。

② 入学時特別増額貸与奨学金（日本学生支援機構）

金額	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択
時期	入学後、初回の第一種又は第二種奨学金とともに振り込まれる
対象	日本学生支援機構が行う国の奨学金（貸与型／第一種、第二種）の申込者で以下を満たす人 ・上記「① 国の教育ローン」を利用できなかった（所定の書類を提出） ・世帯の収入が一定水準以下
利息	申込み時に利率を「固定」か「見直し」か、いずれかの方式を選択 （第二種奨学金の利率に0.2%を加えた率）
留意点	・入学前の振込みではない（入学後、初回の奨学金とともに振り込まれる） ・国の奨学金（貸与型）とセットで利用（単独では利用できない） ・労働金庫の「入学時必要資金融資制度」と併せて使えば、入学前に資金が得られます。

③ 生活福祉資金貸付制度 （市区町村の社会福祉協議会が窓口）

限度額	① 教育支援費 <短大> 月額60,000円以内 <大 学> 月額65,000円以内 ※特に必要と認められる場合は、上記上限額の1.5倍まで貸付可。 ② 就学支援費 500,000円以内
期間	必要な時期に利用可能 振替期間：卒業後6ヵ月以内 償還期間：振替期間経過後20年以内
対象	低所得世帯・他から借り受けることが困難な世帯（市町村民税非課税世帯）等
利息	無利子

④ 母子父子寡婦福祉資金貸付金 （市区町村の福祉担当窓口）

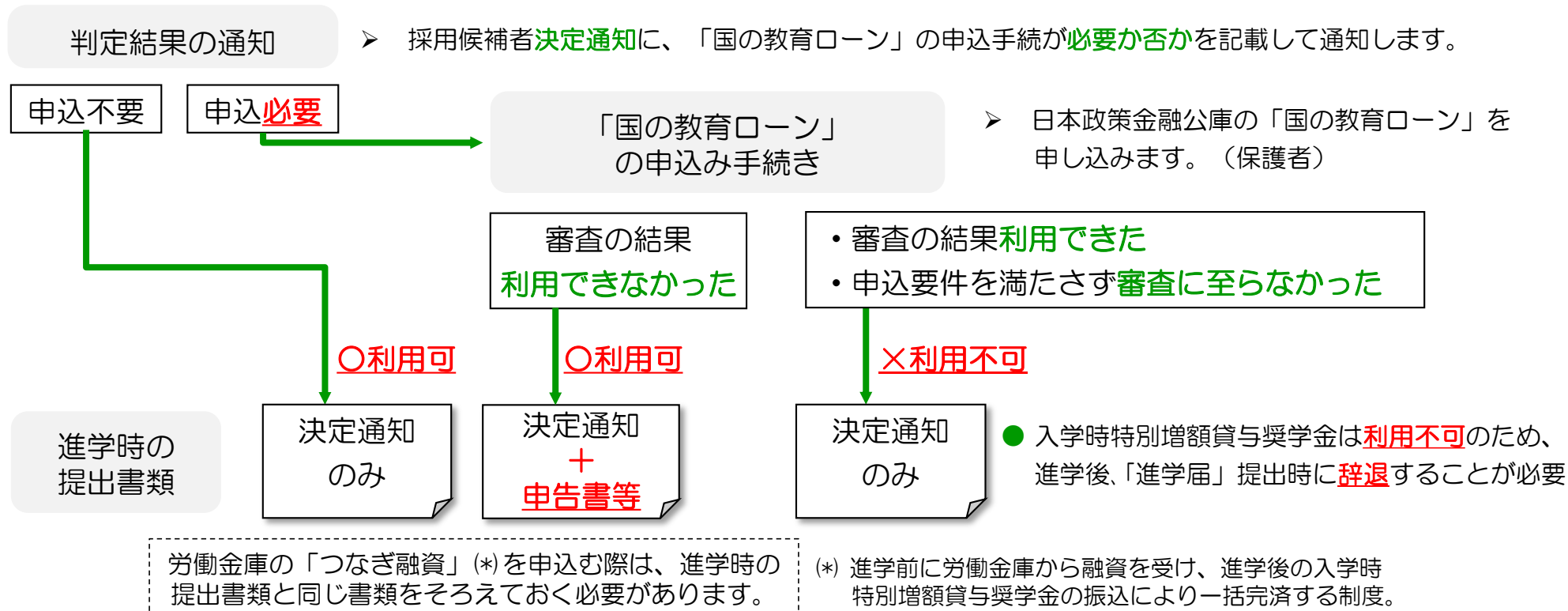
限度額	① 修学資金 <短大・専修学校（専門課程）> 月額90,000円 <大 学> 月額96,000円 ② 就学支援資金 <国公立大学・短大> 380,000円以内 <私立大学・短大> 590,000円以内
期間	振替期間：卒業後6ヵ月以内 償還期間：就学20年以内
対象	・母子家庭の母、父子家庭の父が扶養する児童 ・父母のない児童、寡婦が扶養する子
利息	無利子

入学時特別増額貸与奨学金について

入学時特別増額貸与奨学金

入学時特別増額貸与奨学金は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に申し込んだものの審査の結果利用できなかった世帯の生徒が利用できる奨学金です。（そのことを示す書類（「申告書等」）が進学時に必要です。）
ただし、世帯の収入が一定額以下の場合は「国の教育ローン」の申込手を省略できます。

手続きの流れ



奨学金の概要

予約採用の流れ

申込み（生徒）

- インターネット（**スカラネット**）で申込み
- 申込書類の提出
※ 学校で取りまとめ
- **マイナンバー**の提出
※ 生徒から直接機構に郵送

推薦（学校→機構）

- インターネット（**スカラAC**）で推薦
- 申込書類の送付

採用候補者の決定（機構）

- 審査のうえ**採用候補者**を決定

採用候補者への通知（機構→学校→生徒）

- 機構から到着した「採用候補者決定通知」等を生徒に交付

※大学等へ進学（高専は4年次に進級）

進学届の提出（学生→機構）

- 大学等に**進学後**、**進学届**の提出（インターネット）により**奨学生**に採用
- 奨学金の振込開始

申込手続の方法

申込・推薦手続の流れ

(生徒)

書類等の受取り



「奨学金案内」「申込みのてびき」等の冊子（封入セット）及びスカラネット入力用の**生徒用識別番号**（ユーザID・パスワード）をもらいます。

書類準備



「申込みのてびき」を見ながら必要書類を準備・作成し、「**スカラネット入力準備用紙**」に記入します。

スカラネット入力



スカラネットにて申込入力をします。

書類提出



マイナンバー提出書類**以外**の必要書類を、**学校が定めた期限までに、学校に**提出し、マイナンバー提出書類一式を、**入力後1週間以内に、機構宛に専用封筒にて郵送**します。

(学校)

申込入力の確認



スカラネット入力の**翌日以降**、**スカラAC**にて、入力内容を確認します。

成績入力



スカラACにて、申込者の成績等の必要事項を入力します。

推薦処理



すべての申込者について入力内容の確認及び成績入力が完了したら、**推薦期限までに**、スカラACにて「**推薦**」処理を行います。

書類の送付



推薦処理後、書類提出期限までに、生徒から提出されたマイナンバー提出書類**以外**の書類及び学校にて作成した書類を併せて**機構に送付**します。

申込手続の方法

必要書類の受取り

申込関係書類 次の①～⑥の申込関係書類一式は、封筒に封入した形で各学校にお送りします。

- | | |
|------------------|--|
| ① 「奨学金制度早わかりガイド」 | 奨学金制度の概要の説明冊子です。②・③の要点を記載しています。 |
| ② 「給付奨学金案内」 | 給付奨学金について詳しく説明している冊子です。 |
| ③ 「貸与奨学金案内」 | 貸与奨学金について詳しく説明している冊子です。 |
| ④ 「申込みのてびき」 | 申込手続の説明冊子です。 様式集・「スカラネット入力準備用紙」 が挟み込まれています。 |
| ⑤ マイナンバー提出書のセット | マイナンバーの提出に使用する次の3点セットです。（緑色封筒に封入） |
| ⑤-1 「マイナンバー提出書」 | マイナンバーを提出する人の氏名等及びマイナンバーを記入する様式です。 |
| ⑤-2 説明資料 | 必要な添付書類（番号確認書類・身元確認書類）や提出方法等の説明チラシです。 |
| ⑤-3 提出用封筒（青色） | 「マイナンバー提出書」及び添付書類を封入し、提出する際に使用する封筒です。 |
| ⑥ チラシ等 | 機関保証制度に関するチラシ、授業料等減免制度に関するチラシ（文部科学省作成） |

申込手続の方法

奨学金制度 早わかりガイド



給付奨学金案内



貸与奨学金案内



申込みのてびき



書類作成時に注意すること

提出書類

			貸与奨学金	給付奨学金
生徒 ↓ 学校	① 「提出書類一覧表」	必要書類を確認し、漏れなく正しく提出するための様式	全員（様式①）	
	② 「確認書」 ※親権者が署名押印できない場合等の追加提出書類等を含む	奨学金の申込みにあたり、機構の諸規定を確認し、遵守することを約束する書類	全員（様式③） 「貸与奨学金確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書」	全員（様式②） 「給付奨学金確認書」
	③ 申込資格に関する証明書類	外国籍の申込者について、申込資格を満たすことの証明書類	該当者のみ（手引きP 6）	
	④ 収入に関する証明書類 ※マイナンバーの提出によって提出不要となった以外の証明書類	スカラネットで申告（入力）した収入の証明書類	該当者のみ （手引きP 1 6）	該当者のみ ※申込者本人に市町村民税が課税されているときに限る
	⑤ 特別控除に関する証明書類	単身赴任等の特別控除事由に該当し、控除の申請を希望する場合に提出する書類	該当者のみ （手引きP 20）	
生徒 ↓ 機構	マイナンバー提出書類	本人・生計維持者のマイナンバーを提出するための様式及び証明書類 ※簡易書留を利用すること	全員 ●「マイナンバー提出書」 ●番号確認書類 ●身元確認書類	
学校 ↓ 機構	推薦書類	スカラACでの推薦後、生徒から提出された申込書類(上記①～⑤)を機構に送付する際の一式	●推薦報告書兼推薦書類送付書（様式1） ●推薦者一覧表（スカラACから出力） ●生徒から提出された申込書類（①～⑤）	

学校作成

書類作成時に注意すること

スカラネット入力準備用紙

スカラネット入力の準備として、「申込みのてびき」を読みながら「スカラネット入力準備用紙」に記入します。

○・・・記入が必要 —・・・記入不要

項目	給付	貸与	記入内容の概要
① ID・パスワード (P4)	○		学校から交付された生徒用識別番号（ <u>ユーザID・パスワード</u> ）と、「 <u>マイナンバー提出書</u> 」に記載の「 <u>申込ID・パスワード</u> 」を記入します。
② あなたの情報 (P6)	○		生徒の氏名・生年月日・ 国籍 ・ 在留資格 等を記入します。
③ 在学情報 (P8)	○		生徒の在籍する学校の学科やクラス・出席番号等を記入します。
④ 奨学金申込情報 (P10)	○		申し込む奨学金の種類を記入します。 ● 貸与奨学金を申し込む場合、現在考えている貸与月額等も記入します。
⑤ 家族情報 (P12)	○		生徒の家庭の状況や家族人数等を記入します。
⑥ 生計維持者情報 (P14)	○		生計維持者の氏名や マイナンバーの提出（準備）状況 等を記入します。 ● 貸与奨学金を申し込む場合、収入状況も記入します。
⑦ 資産の申告 (P16)	○	—	給付奨学金を申し込む場合、申込者本人・生計維持者の資産の合計額及び合計額が基準額未満であることを記入します。
⑧ 就学者・就学前の家族 (P18)	—	○	家族の中の該当する人の氏名等を記入します。
⑨ その他の家族 (P18)	—	○	
⑩ 特記情報 (P20)	—	○	母子世帯である等特記すべき状況について記入します。

書類作成時に注意すること

確認書の作成

用紙の確認

～ 確認のポイント ～

- ① 奨学金の種類と一致しているか（給付奨学金を申し込む→「給付奨学金確認書」）
- ② 2021年度入学者用の「確認書」を使用しているか
- ③ 裏面が印刷されているか
 - コピー可（白黒印刷可）。ただし、1枚の用紙に両面印刷したものに限ります。

～ 不備事由 ～

- × 令和元（2020）年度入学者用以前の「確認書兼同意書」を使用している（様式が古い）
- × 裏面の「約款」が印刷されていない・印刷が欠けている
- × 1枚の用紙に両面印刷されていない（2枚の用紙をホチキス留め・のり付けしている）
- × 収入証明書等がのり付けされ、裏面の「約款」が読めない状態になっている

裏面

書類作成時に注意すること

記入内容の確認

～ 確認のポイント ～

- ・ 日付（スカラネット入力日）、受付番号の記入がされているか
- ・ 本人及び親権者の署名・押印・住所がそれぞれの人により記入、押印されているか
- ・ 黒又は青のボールペンで署名されているか
- ・ 押印が正しくされているか
- ・ 訂正がある場合は正しい訂正方法で訂正されているか

～ 不備事由 ～

- × 同一筆跡 又は 同一印と思われる
- × 鉛筆書き、消せるボールペンを使用している
- × 修正液や修正テープを使用し訂正している
- × 署名、押印後にコピーしたものが提出されている

1. 本人に関する内容

受付番号はスカラネットによる申込入力終了後に表示されます。必ず記入してください。

受付番号	1 1 0 0 0 1 0 0 - 1 0 0 - 0 0 0 1 0	提出年月日	2020 年 4 月 15 日
※受付番号はスカラネットによる申込入力終了後に発行される番号です。必ず記入してください。		学 校 名	日本学生高等学校
		学 年	3
		組	1
		出席番号	6
		電話番号	03-0000-0000
		性別（任意）	男・女
		フリガナ	ショウガク マナブ
		〒	123-4567
		住所	東京都千代田区1-1-92
		生年月日	昭和・平成 14 年 11 月 18 日
		国籍又は任意資格 【該当を○で囲む】	a 日本国籍 b 法定特別永住者 c 永住者 d 定住者（永住の意思がある者に限る） e 日本人の配偶者等 f 永住者の配偶者等 ※ d～f の該当者は在留期限（在留期間の満了日）を記入（ 年 月 ）

あなたの国籍と、外国籍の場合は在留資格・在留期限等を記入してください（給付奨学金確認書のみ）。

2. 生計維持者に関する内容（給付奨学金確認書のみ）

生計維持者	氏名	奨学 優	生年月日	昭和・平成 45 年 5 月 3 日	本人との続柄	父
	〒	123-4567	住所	東京都千代田区1-1-92		
2	氏名	奨学 和美	生年月日	昭和・平成 48 年 2 月 11 日	本人との続柄	母
	〒	123-4567	住所	東京都千代田区1-1-92		

本人と生計維持者の資産合計額 2,000 万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250 万円未満）

本人および生計維持者の資産合計額が基準内であること給付奨学金案内7ページ参照）を確認し、生計維持者の情報を記入します（押印不要）。

3. 親権者に関する内容

訂正する場合は、二重線で消して、その欄の人が使用した印を押し、余白に正しい事項を記入してください。

本人が未成年者の場合	本人の続柄	父	氏名	奨学 和美	奨学 優	
	〒	123-4567	住所	東京都千代田区1-1-92		
本人が未成年者の場合	本人の続柄	母	氏名	奨学 和美		
	〒	123-4567	住所	東京都千代田区1-1-92		
本人が未成年者の場合	本人の続柄		生年月日	昭和・平成 45 年 5 月 3 日	電話番号	03-0000-0000
	本人の続柄		生年月日	昭和・平成 48 年 2 月 11 日	電話番号	

押し直す場合は、印影や訂正線に重ならないように押印してください。

書類作成時に注意すること

マイナンバーの提出

マイナンバーの提出が必要な人

- ① 申込者本人
- ② 生計維持者（2名いれば2名とも）

提出書類

- ① 「マイナンバー提出書」
- ② 申込者本人の番号確認書類
- ③ 生計維持者の番号確認書類
- ④ 申込者本人の身元確認書類

提出時期・方法

スカラネットで申込後、上記の書類を「専用封筒」に入れて、
1週間以内に郵便局の窓口から簡易書留で機構指定の送付先に郵送してください。

番号確認書類

いずれか1点

- ① マイナンバーカード（裏面）のコピー
- ② 通知カードのコピー
- ③ マイナンバー（個人番号）記載の住民票（コピー可）

身元確認書類

いずれか1点
(コピー)

マイナンバーカード
(表面)

パスポート

運転免許証

在留カード

特別永住者証明書

障害者手帳

療育手帳

小型船舶操縦免許証 写真付き学生証

写真付き生徒手帳
(在学証・生徒証明書・身分証明書のページ)

いずれか2点
(コピー)

← どちらか →

健康保険証

在学証明書

年金手帳

写真なしの学生証

戸籍謄本又は戸籍抄本

写真なしの生徒手帳

(在学証・生徒証明書・身分証明書のページ)

住民票又は住民票記載事項証明書

(番号確認書類に通知カードのコピーを提出する場合に限る)

※「氏名」と「生年月日」が記載（印字）されたページをコピーしてください。（ページが分かれている場合は、両方のページをコピー）

今後のスケジュール

書類提出日

5月 28日（金）

スカラネット入力日

6月中に、各クラスごと入力日を設定して申し込みを行います。

奨学金希望者等からのお問い合わせ窓口

奨学金希望者（生徒・保護者）等からの奨学金制度や手続きに関する一般的なお問い合わせに関する電話相談窓口として、「奨学金相談センター」をご利用ください。

○ 日本学生支援機構 奨学金相談センター

電話（ナビダイヤル）： 0570-666-301（平日 9時～20時）

マイナンバーの提出に関する奨学金申込者からのお問い合わせは、別途設置している以下の専用相談窓口で対応しています。

○ マイナンバー提出専用コールセンター

電話（ナビダイヤル）： 0570-001-237（平日 9時～18時）

機構にて審査がありますので書類の提出期限は必ずお守りください。

期限経過後の申込みは致しかねますのでご了承ください。